

平成19年11月1日

発 表 事 項

皇太子殿下には、平成19年11月1日から平成22年末まで、国連「水と衛生に関する諮問委員会」名誉総裁に就任されることになった。同委員会は、生活及び健康に不可欠である水と衛生に関する人々の意識を高め、幅広い視点から水資源管理や水に関する持続可能な開発を推進し世界の貧困削減を目指していくことを目的として、国連事務総長により創設されたものである。

なお、その委員は、国際的な有識者、学者、閣僚等幅広い分野からそれぞれ個人の資格で国連事務総長の委嘱を受けて参加している。初代議長は、故橋本龍太郎元内閣総理大臣であり、現在、オランダ国皇太子ウィレム・アレキサンダー殿下が議長として活動に尽力されている。

国連「水と衛生に関する諮問委員会」の概要

1. 設立・活動の経緯

- (1) コフィ・アナン国連事務総長（当時）が自らの発意により創設したもので、2004年3月22日の「世界水の日」に、同事務総長より諮問委員会の設立が発表された。初代議長に橋本龍太郎元総理が就任。
- (2) 諮問委員会の委員は、世界中のさまざまな分野から、閣僚経験者や国際機関の長を務めた有識者や NGO の代表など 21 名の委員で構成されている（構成メンバーは以下を参照）。
- (3) 橋本元総理のご逝去の後、2006 年 12 月にオランダ国皇太子ウィレム・アレキサンダー殿下が議長にご就任。
- (4) 2007 年 1 月に潘基文国連事務総長就任。潘事務総長より諮問委員会に対し委員会活動の継続発展を要請。

2. 活動内容

- (1) 2004 年の諮問委員会の設立以降 2007 年 10 月迄に 8 回の会合を開催。
- (2) 2006 年 3 月にメキシコで開催された第 4 回世界水フォーラムにおいて「橋本行動計画」を発表。現在、「橋本行動計画」の実現のための諸活動を実施。
（注：「橋本行動計画」は、水と衛生の分野において、各国政府や世界の主要機関が取るべき具体的な行動を提案し、その行動実現に向けた諮問委員会自身の活動内容を明らかにしたもの。）

3. メンバー(委員)

オランダ国皇太子ウィレム・アレキサンダー殿下（議長）

ウシ・アイト（副議長）

独連邦国会議員・前ドイツ連邦経済協力開発省副大臣

マフムード・アブ・ザイド

エジプト水資源灌漑大臣

ディビッド・ボーイズ

国際公務労連（PSI）公共事業担当

ミシェル・カムデス

前 IMF 専務理事

ファニタ・カスターニョ

前コロンビア外務次官

マーガレット・カトレイ・カールソン

世界水パートナーシップ総裁

ジョスリン・ダウ

元女性環境開発機構総裁

ジョルジョ・ジャコメリ

ハイドロエイド総裁

アンヘル・グリア

OECD 事務総長

オリビア・ラ・オ・カスティージョ

アジア太平洋持続可能な消費生産円卓会議議長

アントニオ・ダ・コスタ・ミランダ・ネット

前ブラジル上下水道サービス協会代表

ポール・ニールソン

前欧州連合開発・人道援助担当委員

尾田 榮章

日本水フォーラム 相談役

エリック・オダダ

ナイロビ大学地質学部長

ジェラルド・ペイヤン

民営水事業体連盟総裁・前スエズ社上級副社長

ジュディス・リース

ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス教授・前副学長

バサリー・トウレ

元マリ財務大臣、元世界銀行理事

ヨルドン・ウズノフ

元ブルガリア環境副大臣

汪 恕誠

中共第 16 期中央委員、前国務院水利部長

ハン・スンス

韓国水フォーラム総裁、韓国元副首相

（2007 年 10 月現在）

（了）